

公開シンポジウム

5.29 火 17:30
20:00

お茶の水女子大学
本館 135 室
カンファレンスルーム

原発と サステイナビリティ・ サイエンス

ジェンダー視点からの課題を考える

本シンポジウムでは、チェルノブイリや福島原発事故の経験を契機に、国際社会における核エネルギー、原子力発電について、「持続可能な地球のための科学」の観点から、考察することを意図している。具体的には、国連諸機関や国際的に活動する諸団体のゲストスピーカーを招き、世界に 430 基以上も存在する原子炉に対する国際原子力機関 IAEA の役割、未来世代への人類の責任、福島の子どもの状況もふまえたリプロダクティブ・ヘルスの問題等を、ジェンダー視点からの課題として討議する。

国末 憲人 朝日新聞GLOBE 副編集長

「国際原子力機関 IAEA の役割」
—— 保障措置、原子力安全、核セキュリティ」

吉田 由布子 「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク事務局長

「放射能汚染が未来世代に及ぼすもの」
—— リプロダクティブ・ヘルスの視座から」

堀尾 多香 日本ユネスコ国内委員会協力官

「『サステイナビリティ・サイエンス』のあり方」
—— 日本ユネスコ国内委員会からの提言」

菊川 穰 一般社団法人エル・システムジャパン代表理事 (元日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部プログラムコーディネーター)

「原発事故後の福島の子どもたち」

コーディネーター・司会

菅野 琴 ジェンダー研究センター客員研究員 / 元ユネスコ本部職員

館 かおる 大学院及びジェンダー研究センター教授

参加申込：参加費無料

参加希望者は、右記 URL から申しこみください。 <http://www.igs.ocha.ac.jp>